

(別添 4)

【滑川町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末の整備は、文部科学省が示した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具現化を図るものであり、児童や生徒の学習進度や興味関心に合わせた最適な教材の提供やより有効な学習の補助を行うことで、一人一人の学習を最大限にサポートすることが可能となります。また、グループワークやディスカッションなど児童生徒が協力して学ぶことで、より深い理解へとつながります。さらに、遠隔地にいる他者とも共同で学習できることなど、学びの幅を大きく広げることができるものです。

本町がこれまで取り組んできた「人と関わり合いながら学ぶこと」を引き続き推進するためには、一斉学習・個別学習・協働学習のそれぞれの学習場面や学習プロセスにおいて ICT を効果的に活用することが重要であり、それにより、児童生徒がそれぞれの「学びの形」に関心を持ち、自らが関心を持ち主体的・積極的に学ぶことにつながります。

2. GIGA 第 1 期の総括

GIGA 第 1 期においては、小・中学校に 1 人 1 台端末と校内に高速通信ネットワークの整備を実施し、運用を開始しています。同時に、小・中学校の普通教室に大型提示装置を設置し、ICT を活用した授業が展開できるよう整備を行っています。

これにより、本町の学習環境は大きな変貌を遂げました。児童生徒が日常的に端末に触れることで、ICT 機器は身近な学習ツールとして活用が図られるようになる一方で、教科や学年により端末の活用状況に差が見られ、端末の利活用における様々な課題も出てきました。そこには、ICT 機器のさらなる整備だけでなく、教職員のスキルアップも含めた利活用方法を検討するなど、活用状況から課題を分析し、本町の GIGA スクール構想のさらなる推進を目指す必要があります。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

- (1) 1 人 1 台端末を活用し、児童や生徒が興味関心あるテーマを深く掘り下げ、自ら課題を見つけ、解決策を探究する教育活動を実施します。
- (2) 児童や生徒一人一人の学習状況をリアルタイムに把握し、適時フィードバックを行うことで、学習効果の高い教育活動を行います。
- (3) プレゼンテーションツールを活用し、児童や生徒がアウトプット型の授業を展開するなど、双方向型の授業を展開します。
- (4) 特別な支援を要する児童や生徒の実態に応じたサポートを実現するなど、児童や生徒の学びを保障するため、学校内外においても学習ができる環境を整備します。
- (5) 情報を収集する力だけでなく、情報を取捨選択し、読み解く力を育成することで、児童や生徒が安全に学び、成長できる情報教育を推進します。